

バイサイドの品格・ セルサイドの矜持

日本カストディ銀行 取締役会長
(元日本銀行理事)

田 中 洋 樹



「100円で、カルビーポテトチップスは買えますが、カルビーポテトチップスで100円は買えません。悪しからず。」昭和50年代初期に放映されたこのテレビ・コマーシャルは、カルビーポテトチップスが急速に市場に受け入れられていくきっかけとなったコマーシャルであるとともに、その後個性派女優として活躍することになる藤谷美和子にとってもテレビ・コマーシャルのデビュー作であった。当時は、私にとって高校を卒業し大学に進学した頃でもあるのだが、なぜか、このコマーシャルが頭の中に残った。言っている内容は、極めて単純なのだが、100円でもものが「買える」が、もので100円は「買えない」というのはどういうことなのか。そんな問題意識が、その後の私の職業人生の方向性を決めるとは、その時は明確には意識しておらず、もっぱら藤谷美和子の可愛さに惹かれていただけだったように思う。

経済学が得意とするところの、「他の条件が一定」とすれば、誰しも、お金はないよりも、たくさんあった方が良いと思うだろう。問題は、実際のところ、「他の条件が一定」などということは、世の中には一つもないことだ。お金を所有するための方法論としては、①稼ぐ<物を買ったり、サービスを提供したりして、その対価としてお金を取得する>、②借りる<他の人が持っているお金を、返済することを条件に、取得す